

令和 7 年度
事業報告書

社会福祉法人 南陽恵和会

目 次

1	令和7年度事業総括・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	法人事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	理事会・監事会・評議員会開催状況・・・・・・・・	3
4	会議・委員会開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・	4
5	職員状況・・・・・・・・・・・・・・・・	5
6	職員研修等状況・・・・・・・・・・・・・・・・	6
7	苦情受付と対応・・・・・・・・・・・・・・・・	7
8	特別養護老人ホームこぶし荘・・・・・・・・	8
	(1) 介護課	
	(2) 医務課	
	(3) 給食課	
	(4) 総務課	
	(5) 業務課	
9	こぶし荘ショートステイ・・・・・・・・	21
10	こぶし荘デイサービスセンター・・・・・・・・	23
11	こぶし荘在宅介護支援センター・・・・・・・・	27
12	こぶし荘認知症高齢者グループホームこぶしの家・・・・・・・・	29
13	養護老人ホーム南陽やすらぎ荘・・・・・・・・	33

1. 令和7年度事業総括

令和7年度は、昭和63年5月の法人設立から38年目を迎え、①南陽やすらぎ荘第2期指定管理の初年度、②特養改修整備3ヶ年計画の最終年度にあたり、今年度も新型コロナウイルスへの対応を講じながらの運営となった。

介護サービスにおいては、令和6年4月の介護報酬改定が全体で+2.04%（介護職員の処遇改善1.59%、光熱水費等の高騰0.45%）とされたが、令和7年度実績においても物価高騰が改定率を上回り、昨年に引き続き運営に大きな影響を受けた。

その様な中、特養拠点においては介護サービスの充実を図るため、①機器を活用した機能訓練の充実、②科学的介護情報システム（LIFE）によるサービス分析、③タブレット導入による介護記録業務の更なる充実に取り組んだ。

一方で特養においては入院者が大幅に増加したものの、ショートステイの空所利用によりカバーし、利用実績はこぶし荘拠点全体で前年度を上回る実績を達成した。

南陽やすらぎ荘拠点においては、新施設運営4年目を迎えるとともに、第2期指定管理の初年度となった。支援提供では、①4ユニット体制での処遇体制強化、②委託業者との連携強化による食の充実、③感染症や緊急時対応を見据えた直接処遇職員の増員と資質向上に取り組んだ。

入所実績においては、これまでのベッド有効利用の要望が実り、実績は前年度を若干下回ったものの、県内養護施設の平均入所率に迫る実績を達成した。

感染症対策においては、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月以降5類に移行したものの時期を問わず一定数が報告され、更にはインフルエンザが猛威を振るうなど、面会の一部制限、職員の行動自粛等の対策を講じながらの運営が続いた。その様な中、ボランティアの受入再会、面会エリアの一部制限解除等、社会的活動の再会を目指し取り組んだ。次年度においては敬老会へのご家族案内など感染症の状況を勘案しながら再開を目指したい。

人材育成については、法人事業所間の連携として、①人事異動による人材交流、②内部研修会の合同開催、③緊急時の業務連携、④プリセプター制度の充実による職員定着に努めた。

職員の待遇改善においては、①職能資格の取得推進（介護福祉士4名合格、介護支援専門員1名合格）、②令和7年に創設された「介護人材確保職場環境改善事業補助金」と「職員の賃上げ職場環境改善支援事業補助金」を活用した一時金の支給に努めた。

施設整備においては、特養改修整備3ヶ年計画として、令和5年度に、①壁クロス・フロアシート張り替え工事、②LED照明工事、③ゾーニング・面会室工事を実施し、令和6年度は「屋上防水・外壁塗装改修工事」を実施、令和7年度には旧厨房を改修し看取り居室を整備し、37年経過した特養の老朽化に対応した。

令和8年度は、①南陽やすらぎ荘の第2期指定管理の更なる充実、②新興感染症に対応した医療機関との連携、③福祉人材確保に対応した再雇用制度の充実、④生産性向上のための業務効率化、⑤理事会、評議員会、監事会等の組織体制の強化を図り、今後とも変化する社会情勢に対応した施設運営に努めたい。

2. 法人事業概要

- (1) 法人名 社会福祉法人 南陽恵和会
- (2) 所在地 山形県南陽市川樋508番地
- (3) 設立年月日 昭和63年5月17日
- (4) 法人事業

第一種社会福祉事業

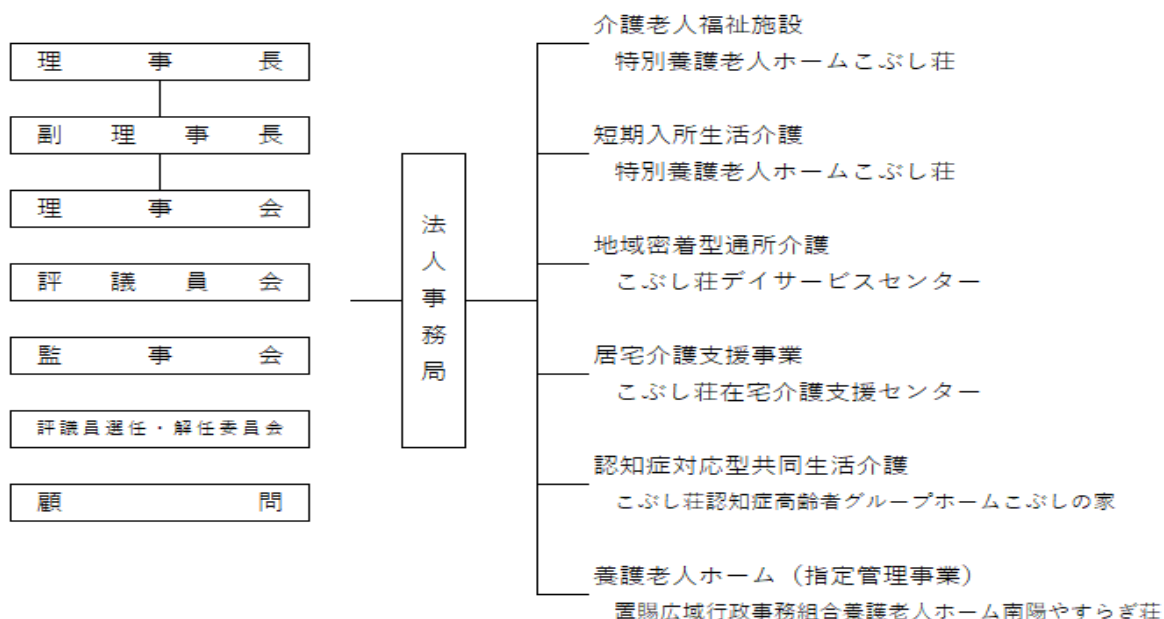
事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
介護老人福祉施設 (居宅介護支援事業)	特別養護老人ホームこぶし荘 (こぶし荘在宅介護支援センター)	116名	平成元年4月1日 ※R3.5.1 定員110名から116名に変更 (平成5年4月1日)
養護老人ホーム	置賜広域行政事務組合 養護老人ホーム南陽やすらぎ荘	70名	令和2年4月1日指定 管理開始

第二種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
短期入所生活介護	こぶし荘ショートステイ	2名	平成元年4月1日
通所介護	こぶし荘デイサービスセンター	18名	平成5年4月1日
認知症対応型 共同生活介護	こぶし荘認知症高齢者 グループホームこぶしの家	9名	平成14年3月1日

(5) 組織図

社会福祉法人南陽恵和会



3. 理事会・監事会・評議員会開催状況

(1) 役員
 理事 9名（定数 9名）
 監事 2名（定数 2名）
 顧問 1名（定数 1名）

(2) 評議員 10名（定数 10名）
 評議員選任委員 3名（定数 3名）

(3) 理事会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数		
		理事	監事	顧問
令和7年6月12日	令和7年度 第1回定例理事会 ・任期満了に伴う役員及び顧問の選任 ・事業報告案、決算報告書案並びに監査報告 他	5/6	2/2	1
令和7年6月26日	令和7年度 臨時理事会 ・社会福祉法人南陽恵和会理事長等の選任	8/9	2/2	1
令和7年9月25日	令和7年度 第2回定例理事会 ・施設長の選任 ・令和7年度第1次収支補正予算案 他	8/9	2/2	0
令和7年12月11日	令和7年度 第3回定例理事会 ・南陽やすらぎ荘給食業務委託入札執行 ・令和7年度第2次補正収支予算案 他	9/9	2/2	0
令和8年2月25日	令和7年度 臨時理事会 ・施設長の選任	8/9	2/2	1
令和8年3月26日	令和7年度 第5回定例理事会 ・設備整備借入金の繰上げ償還 ・令和8年度事業計画案、当初予算案 他	8/9	2/2	1

(4) 監事会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数
		監事
令和7年5月30日	令和7年度 第1回定例監事会（業務執行監査） ・監査の所見は「決算報告書」に添付	2/2

(5) 評議員会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数	
		評議員	役員
令和7年6月26日	令和7年度定時評議員会 ・決算報告書案並びに監査報告 ・任期満了に伴う役員及び顧問の選任	13/13	9/9

(6) 評議員選任・解任委員会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数
		委員
令和7年5月16日	令和7年度第1回評議員選任・解任委員会 ・評議員の選任	3/3

4. 会議・委員会開催状況

(1) 施設運営会議

開催時期	開催回数	内 容
4月～3月	12回	事業計画の進捗確認と検証、目標達成のための協議検討

(2) リスク対策委員会

委員会名	開催回数	内 容
入所選定委員会	7回	次期入所者の決定、ベッド調整
身体拘束廃止・虐待防止委員会	4回	身体拘束廃止への取り組み
事故発生防止委員会	6回	リスク対策と軽減
看取り介護委員会	4回	看取り介護サービスの充実
感染症・食中毒予防まん延防止対策委員会	4回	感染症・食中毒予防まん延防止対策
グループホーム重度化対応委員会	6回	GHにおける重度化対応と医療連携
褥瘡発生防止委員会	4回	褥瘡発生防止対策
安全衛生委員会	12回	労働災害防止、労働衛生管理
給食委員会	12回	利用者給食提供の充実
広報委員会	5回	広報誌発行、ホームページ更新等
防災対策委員会	4回	施設防災対策、防災訓練実施
研修・地域連携委員会	4回	施設内研修、地域貢献活動の企画
リハビリ委員会	3回	個別リハ、集団リハの充実
ショートステイ委員会	休 会	緊急受け入れ体制、コロナ禍対応
看護介護協働委員会	休 会	喀痰吸引制度の普及啓蒙
生産性向上委員会	2回	各業務状況分析、センサーベッド導入

(3) 特別委員会

会議名	開催回数	内 容
サービス検討委員会	休会	他委員会と連携協働
秋祭り実行委員会	3回	こぶし荘秋祭りの企画実施
コスト軽減対策委員会	3回	コスト軽減案の作成と実行、効果検証
人材確保プロジェクトチーム	休会	人材育成の検討・福祉就職フェアへの参加

(4) 職員会議

会議名	参加者	内 容
令和7年5月中	全職員	令和7年度事業計画について 他 ※感染予防対策として事業所・部署毎の分散開催とした

5. 職員状況

(1) 職種別

令和8年3月31日現在

職 名	事 業 所 別						R7 年度 採用者 数	R7 年度 退職者 数
	こぶし荘	デイサ ービス	グルー プ ホーム	支援C	計	やすらぎ荘		
施 設 長	1	1	【1】	【1】	2	【1】	0	2
副 施 設 長	0	0			0	0		
事 務 職	3 (1)				3	1	1	1(1)
管 理 者	【1】	【1】	1	【1】	1	0	0	0
生 活 相 談 員	3	1	-	-	4	3	2	0
介護支援専門員	【5】		【1】	2(1)	2		0	0
介 護 職 員	47(25)	4(3)	7(4)	-	58	16(12)	5(5)	13(7)
看 護 職 員	5 (3)			-	5	2(1)	2 (2)	2(2)
機能訓練指導員	2	【1】	-	-	2	-	0	0
管 理 栄 養 士	2		-	-	2	1(1)	1(1)	1(1)
調 理 員	11 (8)		-	-	11	委託	1(1)	1
業 務 員	1 (1) 【1】 (DSC 1 (1))				2	1(1)	1(1)	2(2)
洗 濯 員	6(6)	-	-	-	6	委託	0	1(1)
清 掃 員	3(3)	-	-	-	3	委託	0	0
夜 警 員	4 (4)				4	委託	0	0
医 師 (嘱託)	2(2)	-	-	-	2	1(1)	0	0
実人員合計	90(50)	7(4)	8(4)	2(1)	107(59)	25(15)	-	-

※ () 内は嘱託・準職員・パート職員、派遣職員【 】内は同一事業所内での兼務

※ 実人員合計の内、他事業所を兼務する職員は本体施設でカウント

※ 本表は介護保険法に基づく配置基準を確認するための様式とは異なります

(2) 年齢別

(平均／52.5 歳)

区分	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳～
男 性	0	5	5	3	16	18
女 性	1	5	10	19	21	19
計	1	10	15	22	37	47

(3) 在職別

(平均／13.8 年)

区分	0～5 年	6～10 年	11～15 年	16～20 年	21～25 年	26～30 年	31 年～
男 性	24	8	0	1	3	1	9
女 性	40	15	3	6	5	3	14
計	64	23	3	7	8	4	23

6. 職員研修等状況

(1) 職場内研修

開催日	研 修 内 容	対象者
令和7年5月	【感染症対策】「正しい手洗い手技」(手洗いチェッカー活用) ①	全職員
令和7年6月	【防災対策】「防災訓練、マニュアル確認と設備操作等」	全職員
令和7年6月	【身体拘束廃止・虐待防止】「虐待の芽チェックリスト」	全職員
令和7年8月	【人材育成】「リーダー向けスキルアップ研修」	全課対象
令和7年9月	【身体拘束廃止・虐待防止】「スリーロック」(動画活用)	全職員
令和7年9月	【安全衛生】「ストレスマインドセット研修」①、②	全職員
令和7年10月	【感染症対策】「正しい手洗い手技」(手洗いチェッカー活用) ②	全職員
令和7年11月	【防災対策】「BCP(業務継続計画)研修」	全職員
令和7年12月	【事故発生防止】「転倒転落のリスクマネジメント」	介護中心
令和7年12月	【看取り】「死生観と尊厳」	介護中心
令和7年12月	【給食】「介護施設で行われる食事介助」(動画活用)	全職員
令和8年1月	【褥瘡発生防止】「予防とメカニズム」(動画活用)	全職員
令和8年2月	【身体拘束廃止・虐待防止】「言葉遣い編」(動画活用)	全職員
令和8年2月	【感染症対策】ノロウイルス食中毒予防(動画活用)	全職員
令和8年2月	【研修・地域連携】「認知症サポーター養成講座」①	全職員
令和8年3月	【研修・地域連携】「認知症サポーター養成講座」②	全職員
令和8年3月	【倫理】「倫理・法令遵守」(動画活用)	全職員
入職から6か月以内	【医療】「健康管理・観察の基礎知識」	入職者

【 】は主催委員会等

(2) 外部研修

開催日	研 修 内 容	出席者
令和7年 5月	置賜地区実践研究発表会	施設長、介護課3名
令和7年 5月	県社協 カウンセリングゼミナール	生活相談員 1名
令和7年 6月	県老施協 認知症介護実践者研修	生活相談員 1名
令和7年 6月	県老施協 栄養士研究会	管理栄養士 2名
令和7年 6月	県社協 高齢者介護関係職員研修1	介護課 1名
令和7年 7月	県老施協 認知症対応型サービス事業開設者研修	GH施設長
令和7年 7月他	県社協 高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修	介護課 2名
令和7年 7月	食の現場のリスク管理と災害時への備え	給食課 1名
令和7年 7月	社会福祉法人会計基準実践的基礎講習	総務課 1名
令和7年 8月	山形県 外国人材受入セミナー	施設長
令和7年 8月	県社協 社会福祉専門講座	介護課 1名
令和7年 8月	県社協 高齢者介護関係職員研修2	介護課 1名
令和7年 8月	県老施協 置賜地区職員情報交換会	職種別に開催
令和7年 9月	老施協 東北ブロック大会	施設長、介護課1名
令和7年 9月	消防署 応急手当(救命救急)講習	各職種 5名
令和7年 9月	県社協 コミュニケーション力向上研修1	介護課 1名
令和7年10月	県老施協 機能訓練指導員研究会	機能訓練指導員1名
令和7年10月	県社協 社会福祉専門講座2	介護課 1名
令和7年10月他	山形県 市町村防災力強化専門研修	生活相談員 1名

令和7年10月	県老協 生活相談員研究会	生活相談員 1名
令和7年11月	山形県社会福祉振興会事務担当者研修	総務課 1名
令和7年12月	生産性向上取組施設視察研修	生活相談員 1名
令和7年12月	福祉施設等向け感染症対策研修	生活相談員 1名
令和7年12月	南陽市キャラバンメイト連絡会「スキルアップ研修」	会員他 6名
令和7年12月他	県老協 認知症対応サービス事業管理者研修	GH職員 2名
令和7年12月	地域医療構想及び地域医療・介護連携推進等に係る研修	総務課 1名
令和8年 3月	県社協 介護職員学習交流会	介護課 1名
令和8年 3月	健康推進機構 健康管理担当者研修	施設長
令和8年 3月	市社協 社会福祉法人連絡会合同研修	各事業所人選6名

※その他、オンデマンド配信を行う認知症介護セミナー等に案内し自主研修とした。

(3) 社会・地域貢献活動

期日	項 目	参加・派遣	活動内容
R7. 4. 27	清掃奉仕活動	19名	地区内のゴミ拾い、掃き掃除等
R7. 5. 11	中川地区花いっぱい運動 (花苗植栽)	5名	衛生組合様と共同作業
R7. 6～10月	中川地区花いっぱい運動	全職員	除草、摘花等の花壇管理
R7. 8. 12	いわぶの里夏祭り	5名	模擬店にて販売補助
R7. 10. 26	中川地区文化祭準備	2名	作品展示、会場設営作業

(4) 研修講師派遣・派遣協力

期日	研修名	団体等	派遣職員
R7. 5. 29	南陽市社会福祉法人連絡会 出前講座 「介護予防と健康づくり」	高梨地区サロン	歌丸恭子
R7. 6. 6	南陽市社会福祉法人連絡会 出前講座 「住み慣れた地域で最期まで」	吉野むつみ大学	佐々木利典
R7. 6. 18 他	介護労働講習	介護労働安定センター	〃
R7. 6. 18	南陽市社会福祉法人連絡会 出前講座 「介護予防と健康づくり」	柊塚第一区親友会 高齢者サロン	朝倉由美子 歌丸恭子
R7. 7. 2 他	認知症対応型サービス事業開設者研修	山形県	佐々木利典
R7. 8. 18	介護福祉士施設実習指導者講習	山形県介護福祉士会	〃
R7. 9. 4	認知症サポーター養成講座	きらやか銀行宮内支店	〃
R7. 9. 5 他	認知症対応型サービス事業管理者研修	山形県	〃
R7. 9. 20	外国人材のための国試対策支援講座	山形県介護福祉士会	
R7. 9. 25	認知症介護実践リーダー研修	山形県	〃
R7. 10. 27 他	授業講義	山形市立済生館看護学院	〃
R7. 11. 28	介護職種の技能実習指導員講習	山形県介護福祉士会	〃
R8. 2. 6 他	認知症サポーター養成講座	南陽恵和会職員	山田昌春 山岸篤史

7. 苦情受付と対応

令和7年度はなし

8. 特別養護老人ホームこぶし荘

～ 介 護 課 ～

(1) サービス全般について

今年度も新型コロナウイルス、インフルエンザウイルスを含む感染症対策を講じながらケアを進めてきた。今まで三棟それぞれの形でコロナ感染症を経験した。現在も各棟毎クラスター発症ないよう引き続き感染症対策を継続している。

今後も感染症対策には気を抜かず、持ち込まない対策を講じながら入所者様の健康管理に注意していく。感染症対策で今も職員間はマスク着用し、入所者様とのコミュニケーションを取っている。一日も早くマスク無しの笑顔でケアにあたりたいと願っている。

東西南棟の三棟ケアの充実を図る為、それぞれのチームケアを重視し入所者様に寄り添うケアに取り組んだ。更に三棟とも看取りケアが増えてご家族様との情報共有しながら繋ぐケアを重視した。

写真入りの手紙を作成し入所者様の生活状況を届ける回数を増やした。交流する機会も少しずつ増えており、面会も多くなった。エントランスは照明と空間をリニューアルしプライベートに配慮した。また、面会時には家族写真を撮るよう心掛けた。

今後も入所者様の安心安全な生活を支える為、多職種連携を図り充実した介護に取り組んでいく。

(2) 利用状況（令和8年3月31日現在）

① 要介護度・月別

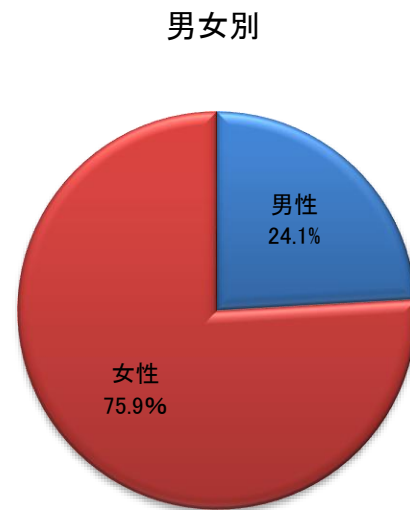
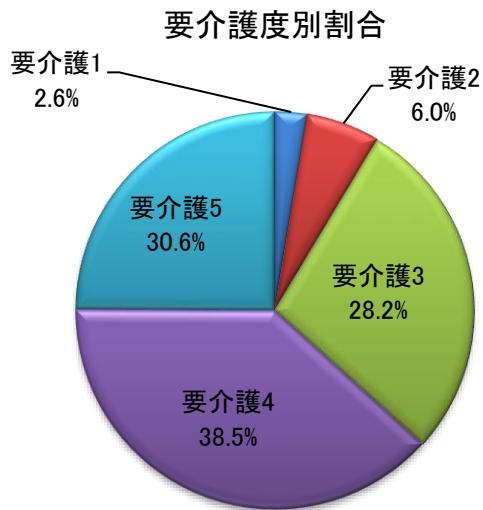
月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	実人数
要介護1	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,095	3人
要介護2	150	118	90	93	93	90	93	60	62	31	0	50	930	2人
要介護3	911	975	942	904	851	709	747	750	759	808	811	840	10,007	29人
要介護4	1,324	1,387	1,347	1,427	1,498	1,559	1,570	1,560	1,651	1,537	1,349	1,504	17,713	49人
要介護5	915	940	960	1,045	1,004	992	1,066	1,007	1,058	988	900	1,025	11,900	33人
合計	3,390	3,513	3,429	3,562	3,539	3,440	3,569	3,467	3,623	3,457	3,144	3,512	41,645	116人
利用率	94.2	97.7	98.5	99.1	98.4	98.9	99.2	99.6	98.5	96.1	96.8	97.7	97.9	
平均介護度 3.90（昨年度 3.80） ※厚生労働省調査の全国平均 介護度 3.51 利用率 93.1%														



② 男女別

実人数

男性	女性	計
28人	88人	116人



認知症における進行段階で中程度といわれる認知症日常生活自立度Ⅲ以上の入所者が約8割程となっている。要介護4、要介護5の入所者は合わせて69.1%である。より良い暮らしを提供するために重度化対応と看取りケアそして、認知症ケアの更なる充実を目指したい。平均介護度は昨年度と同様の3.90である。

③ 市町村別

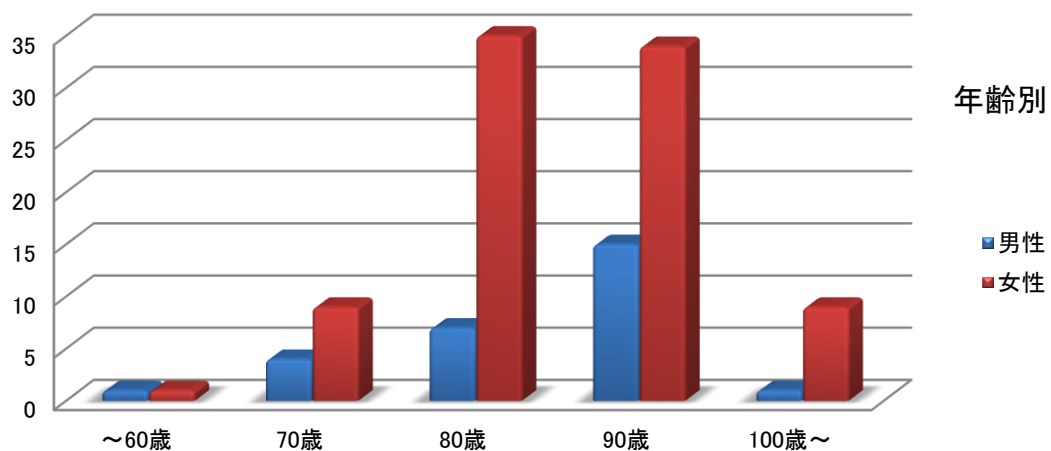
実人数

南陽市	米沢市	高畠町	川西町	その他	合 計
98	2	9	3	4	116

④ 年齢別

実人数

区分	～60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	平均
男 性	1	4	7	15	1	86.6歳
女 性	1	9	35	34	9	88.4歳
計	2	13	42	49	10	88.0歳



116名の入所者のうち101名が80歳以上となっている。高齢者の特徴でもある複数の疾患を抱えている方がほとんどで、看取りケア中の入所者は常時20名程度。「最期まで尊厳のあるケアを」が役割として求められている。また、ご家族も含めた様々な社会的環境が入所要因になっているケースも増えている。

(3) 入退所の状況

実人数

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	入院死亡	希望退所	計	南陽・高畠・川西・米沢
男 性	13	3	4	20	17
女 性	20	3	4	27	25
計	33	6	8	47	42

死亡退所の内訳	施設内	入院先病院	退所後病院死亡	計
人 数	28	5	5	38
平均年齢	90.68	90.6	78.2	86.8

(4) 日常生活の状況

実人数

区 分	歩 行				食 事			入 浴		排 泄	
	自立歩行	歩行介助	車いす使用	ベッド生活	自力摂取	一部介助	全部介助	個浴・中間浴	機械浴	自立・一部介助	オムツ使用者
実数	3	3	77	33	62	29	25	53	63	28	88

(5) 認知症高齢者の状況

実人数

区 分	男性	女性	計
認知症日常生活自立度Ⅲ以上	10	66	76
(全体に占める割合)	8.6%	57.3%	66.1%

(6) リハビリテーション

① リハビリ実施状況

項 目	実施日	月	火	水	木	金	計
個別リハビリ	週 1 回	1	6	2	1	1	11
	小集団			8~10			8~10
集団リハビリ				東棟	南棟	西棟	

・入所者の体調や会議等により実施曜日は前後することあり。

・その他：曜日不定期 18 名 隔週（月）1 名

② リハビリの内容

項 目	リハビリの内容		
個別リハビリ	●歩行訓練（平行棒、歩行器、杖等）	●起き上がり訓練	●座位保持訓練
	●立ち上がり訓練	●筋力訓練	●移乗訓練
	●ROM-EX（関節可動域訓練）	●ポジショニング	●作業活動
集団リハビリ	●歌体操	●脳トレーニング	●回想法 など

～ 医 務 課 ～

（１）サービス全般について

入所者の心身の健康を維持し、日々の生活を安全で健やかに過ごせるよう、嘱託医との連携、身元引受人との情報共有により健康管理に努めた。生活面では、多職種との連携を図りながら生活レベルの低下防止に取り組んだ。

（２）医 療

① 嘱託医の診療

嘱託医	診療科目	診療日
川 合 厚 子 嘱託医	内 科	毎月第１・２・４週 月曜日
佐 藤 忠 宏 嘱託医	精神科	毎月第３週 木曜日
川 合 厚 子 医 師	内 科	オンコール対応
阿 部 友 宏 歯科医	歯 科	随時回診
後 藤 顕 一 歯科医	歯 科	随時回診

川合厚子嘱託医による日常的な診療のほか、個人の状態に応じた必要な処置と、専門医への通院診療が行われた。

認知症疾患に関しては、佐藤忠宏嘱託医による定期診療と、また先生指導による処遇に関する施設内研究など、専門的かつ積極的な取り組みがなされた。

オンコール体制は、川合厚子嘱託医・上所邦広医師・川合正和医師・大塚聡医師による日々の診療体制を取っている。

歯科診療については、阿部友宏歯科医・後藤顕一歯科医師の往診治療、口腔衛生指導により、多くの入居者の口腔衛生が保たれ、入所者と家族から好評を得た。

② 感染症等対策

項 目	人数	実施時期
胸部エックス線検査	86 名	令和 7 年 10 月 20 日～10 月 28 日
インフルエンザワクチン	100 名	令和 7 年 11 月 13 日
新型コロナワクチン	67 名	令和 7 年 12 月 15 日

- ・弱酸性次亜塩素酸水、アルコール消毒による日常的な衛生管理や清掃を実施
- ・レジオネラ菌対策～浴槽の清掃、消毒薬の使用、水質検査などを実施
- ・ノロウイルス等対策～うがい、手洗いの徹底、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒（週 1 回及び随時）
- ・新型コロナ感染症予防のため、新型コロナワクチンを行政指定回数施行。また、出退勤及び面会時の検温とマスク着用、アルコールによる手指の消毒を実施した。
- ・令和 8 年 1 月 27 日緊急ショートステイ利用者 1 名を含む 2 名の受入れを行った際、簡易検査にて 1 名にコロナ陽性が判明。この方については、利用は中止となった。同乗していた方については陰性を確認。要観察者として個室対応。翌日より発熱。連日簡易検査施行するも陰性。1 月 30 日にコロナ陽性が確認されたことから、マニュアルに沿った感染対策に入った。主治医による投薬治療にて軽快され、2 月 7 日利用終了帰宅された。3 月 6 日ショートステイ利用開始予定の 2 名の受入れを行った際、簡易検査にて内 1 名に陽性が判明。利用中止となった。同乗していた方については、陰性を確認。利用中体調変化なく、3 月 9 日に簡易検査と体調の安定性を確認した後に利用終了帰宅となった。

職員については、本人・家族に陽性が確認されることも多々あったが、ごく一部を除き、出勤前の報告と指示を受けるよう徹底を促したこと、早期の感染対策を行ったことから、荘内への持ち込みは確認されなかった。

今後の感染対策として、新規入所や退院時の簡易検査、隔離対応等について、引き続き継続していくこと、都度の検証、見直しを行うことで、感染症対策を強化していく事が重要であると考えます。

(3) 入院・退院

入院者	退院者	入院中 死亡者	継 続 入院者	長期入院によ る契約終了	その他
35 名	23 名	8 名	5 名	7 名	3 名

※入院者には、同一入所者の複数回入院が含まれます

※その他については、令和6年度転院された方を含んでいます。

入院者内訳

公立置賜南陽病院	公立置賜総合病院	佐藤病院	公立高畠病院	米沢市立病院
3 名	26 名	5 名	1 名	0 名

(4) 健康調査

入所者の健康管理上、健康状態の把握が重要なため毎月健康調査を行った

- ・日常的な健康チェック
- ・毎月定期的に血圧、体重測定を行って健康状態を確認
- ・年1回定期的に血液検査を実施した。また、体調不良時など随時、嘱託医の指示のもと、血液・尿等の検査を行い、健康管理に心掛けた。
- ・全入居者を対象に佐藤病院の協力を得て胸部レントゲン撮影を行った。受検者 64 人（新規入所者と入院者を除く）

(5) 職員の健康管理

項 目	実施時期	受検者数	対象者
春季健康診断	4 月～7 月	9 1 名	全職員（健康保険未加入者除く）
秋季健康診断	9 月	3 6 名	夜勤職員及びパート職員
インフルエンザワクチン	1 1 月	9 6 名	全職員
ストレスチェック	1 0 月～1 1 月	1 3 0 名	全職員

春・秋の定期健康診断を実施し、その結果に基づき川合産業医の指導を得ながら職員の健康保持に努めた。要精検者に受診勧奨し職員の健康管理を行った。

コロナ禍のため、講師を迎えての健康講座はできなかったが、Web サイトの健康講話の資料を配布した。

毎月の安全衛生会議において、新型コロナウイルス感染症の情報・予防・対策等を話し合い、確認・周知をした。

また、各事業所の安全点検を実施し、安全で快適な職場づくりを目指した。

～ 給 食 課 ～

(1) サービス全般について

- [1] これまで同様に大量調理マニュアルに沿った衛生管理の徹底と各種記録の徹底を図り安心、安全な給食提供に努めた。栄養面においては食事摂取基準（2025 年版）を参考に給食管理を行い、栄養マネジメントにて個々の栄養状態の維持、改善、悪化予防に努めた。
- [2] 食べる楽しみについて、毎月「麺の日」を実施し、麺類を好む入居者様の楽しみとなるよう提供した。入所者様より「おいしかった」の言葉多く頂戴した。
- [3] 低栄養の予防・改善を図り利用者の生活の質を高めるため、食事形態においては刻み食に対して、食べやすく飲み込みやすいムース食を取り入れている。他の食事形態についても、入所者様に安全、安心に食べていただけるように努めた。又、看取り介護の入所者様についても最後まで口から食べることが継続できるように支援した。
- [4] 調理師・調理補助員の指導、教育については継続していく。

① 適時適温食事

朝 食	昼 食	夕 食
7 : 50～	11 : 50～	17 : 20～

温冷配膳車導入により、適切な温度帯により、食事のおいしさ、食中毒細菌増殖温度帯の回避、異物混入防止など、安全でおいしい食事提供の実現。

② 栄養ケアマネジメント

多職種協働による栄養ケアマネジメント体制で入所者様全員を対象とし栄養状態の維持、改善を図った。おひとりおひとりに合わせた栄養ケア計画を作成し、ご家族様に説明、同意を得て実施した。また定期的にモニタリング、評価し、作成した計画について見直しを行い、計画の変更があった場合は、その都度作成し、同意を得るよう努めた。

看取り介護の入居者様も常時 20 名前後おられ、低栄養のリスクが高い為、概ね 2 週間に 1 度のモニタリングを行った。食事量が減少してきた入所者様については、随時食事内容の検討を行い対応した。重度化に伴い食形態が小刻み食・ミキサーの方が全体の 7 割程度を占めた。

項 目	単位	栄養摂取量基準値 (令和 7 年度)	一日平均摂取量 普通食	一日平均摂取量 粥 食
熱 量	kcal	1532	1554	1338
蛋 白 質	g	59.0	56.7	50.9
脂 質	g	42.7	40.5	40.1
カ ル シ ウ ム	mg	632	691	677
鉄	mg	6.1	11.2	10.6
レチノール活性当量	μg	689	400	405
ビ タ ミ ン B1	mg	0.75	0.95	0.88
ビ タ ミ ン B2	mg	0.92	0.93	0.89
ビ タ ミ ン C	mg	100	76	74

塩	分	g	6.7	9.1	9.1
---	---	---	-----	-----	-----

※ 日本人の食事摂取基準（2025 年版）の数値を献立作成に用いながら栄養アセスメントで算出した個々人の必要量の充足に努めた。（上記表はその平均）

③ 給食費

年間食数	一日平均単価／人
124, 577 食	885 円

今年度も調理員の充足がなかった為、土日祝日の朝食は副食に冷凍の弁当を活用した。常食、刻み食、ミキサー食と 3 種類あり、入居者様に合った形態で提供が可能であった為、有効に活用できた。

給食費は食料品の高騰で、年度途中で値上がった食材もあったが、おおよそ目標の金額で提供できた。

（２）行事食

- ① 毎月の誕生日会については一堂に会しての開催はなかったが、祝福の継続を行った。誕生日当日については、事前におひとりおひとりのご希望の品を伺い給食課で準備後、各棟の介護職員が入所者様の祝福をした。

誕生日会食では季節感や華やかさを意識し、お祝い膳にふさわしい献立を提供し入居者様に喜んで頂けるように努めた。

- ② 正月料理、ひな祭り、土用の丑の日、お彼岸、クリスマスなど、行事食の際は人員を確保し季節感あふれる献立とした。

季節を大切にしたり食事や伝統的な行事食などを通し、外出が思うようにできない入所者様に四季を感じて頂けるように努めた。今後も楽しんで頂ける食事作りに取り組んでいく。

※行事食・誕生日会食の内容は、（資料 1）のとおり

（３）衛生管理について

大量調理マニュアルに添った衛生管理に努めた。厨房内は清潔区域・汚染区域に分かれ衛生面に配慮された環境の下、毎日の清掃消毒、衛生管理の継続をおこない、安心安全な食事提供を行った。新型コロナウイルスが 5 類に移行後も通年通して流行している為、職員の体調管理の徹底、感染防止対策の継続に努めた。

(資料1)

令和7年度行事と行事食

月	日	行 事 内 容	行 事 食
4 月	17, 18 日	麺 の 日	みそラーメン
	25 日	誕 生 会	ちらし寿司、みそ汁、おさしみ、菜の花お浸し、桜餅風デザート
5 月	13, 14 日	麺 の 日	温かいうどん
	23 日	誕 生 会	たけのご飯、カツオのたたき、いこみ高野、小豆ムース
6 月	18, 19 日	麺 の 日	温かい山菜そば
	27 日	誕 生 会	ひじきご飯、エビフライ、キャベツ梅肉和え、さくらんぼ
7 月	7 日	麺 の 日	そうめん
	18 日	土 用 丑 の 日	ひつまぶし、冬瓜のくずあん、クリームソーダ風ゼリー、しば漬け
	25 日	誕 生 会	枝豆と梅干ごはん、冷たい味噌汁、牛皿、甘酢和え、溶けないアイス
8 月	22 日	誕 生 会	ちらし寿司、冷たい味噌汁、茶わん蒸し、甘酢生姜、メロン
	25 日	麺 の 日	中華ざる
9 月	4 日	麺 の 日	冷やしおろしそば
	17 日	敬 老 会	赤飯、清汁、お刺身、炊き合わせ、菊の酢の物、梨・シャインマスカット (祝い菓子：上生菓子)
	24 日	秋 彼 岸	おはぎ4種(あんこ・じんだん・納豆・みそ漬け)、カルシウムヨーグルト、豚汁風煮
	26 日	誕 生 会	変わりご飯、いも煮、なすのじんだん和え、和梨
10 月	1、2 日	麺 の 日	みそラーメン
	23 日	秋 の 味 覚	ゆかりご飯、いも煮、ほうれん草と菊のお浸し、和梨
	24 日	誕 生 会	さつまいもご飯、みそ汁、お刺身、かぶのエビあんかけ、ぶどうゼリー
11 月	12、13 日	麺 の 日	温かいうどん
	28 日	誕 生 会	松茸ご飯、清汁、お刺身、いこみ高野豆腐炊き合わせ、柿ゼリー
12 月	19 日	ク リ ス マ ス 会	チキンライス、コーンスープ、ハンバーグとエビフライ、ブロッコリーのサラダ、コーヒーゼリー、(クリスマス和菓子)
	22 日	冬 至	冬至南瓜
	26 日	麺 の 日	年忘れそば
1 月	1～3 日	お せ ち 料 理	赤飯、棒だら煮、紅白なます、伊達巻、ちくぜん煮、黒豆、鶏の八幡巻き、きんとん、ぶりの照り煮、彩野菜の白和え、鯖の西京焼き、ふきの煮物、三日とろろ、いこみ高野豆腐、鮭の昆布巻き(干支まんじゅう)
	14 日	麺 の 日	みぞれにゅうめん
	23 日	誕 生 会	さくら寿司、みそ汁、お刺身、冬瓜そぼろ煮、いちごムース
2 月	3 日	節 分 の 日	ちらし寿司、たらちり風煮、五目豆、ブロッコリーの浸し、いちごヨーグルト
	16、17 日	麺 の 日	しょうゆラーメン
	27 日	誕 生 会	あさりご飯、みそ汁、お刺身、秋合わせ、カスタードプリン
3 月	3 日	ひ な 祭 り	ちらし寿司、けんちん汁風煮、菜の花辛子マヨネーズ和え、いちごヨーグルト
	13 日	麺 の 日	温かいそば
	19 日	春 の 彼 岸	ばたもち4種(あんこ・じんだん・納豆・みそ漬け)、豚汁風煮、いちごヨーグルト
	27 日	誕 生 会	変わりご飯、清汁、お刺身、茶碗蒸し、いちごのムースデザート

※DSCは4月～3月に麺の日実施

～ 総 務 課 ～

事業計画の達成と安定した運営を図るため、社会的動向や介護保険を取り巻く情勢の変化に注視し、情報の収集と理事会・評議員会への報告・提案に努めた。

南陽やすらぎ荘の指定管理については、設置者の置賜広域行政事務組合と連携しながら運営協定に基づく健全な運営のサポートに努めた。

人材確保と育成・定着については、「南陽市就職面接会」「福祉の仕事就職フェア」に参加しこぶし荘の魅力発信を行いながら求人活動を実施した結果、看護師 1 名の採用に至るなど成果が表れた。

令和 6 年 4 月は、介護、医療、障害のトリプル改定となり、介護報酬においては全体で+2.04%（介護職員の処遇改善+1.59%、光熱水費等の高騰+0.45%）の改定とされた。しかし、令和 4 年以降の世界的な景気回復、世界情勢の緊張等による物価高騰が続き、今年度も、給食材料費を始めとする経費が増加したが、リース品の再リースなどによる経費削減効果により経費率は 0.4 ポイント増に留まった。

職員の待遇改善としては、国の補助事業を活用した一時金の支給（7 月及び 3 月）を行うなど、キャリアパス制度の充実と共に進めた。また、職能資格の推進として介護福祉士 4 名の受験、介護支援専門員 1 名の合格に至った。なお、正規職員登用制度への応募者はいなかった。

財務関係においては、世界情勢の変化に伴う物価高騰や電気料の高騰に対応するため、毎月の試算表提出を厳守し、課題を分析しながら経営の安定に努めた。

（１）監査等

項 目	実施機関	実施日	主な内容
介護保険施設等集団指導	山形県	R7. 7. 9～15	令和 7 年度の指導・監査、法令遵守、基準報酬 等
地域密着型介護保険施設等集団指導	南陽市	R8. 3. 27	令和 7 年度の指導・監査、法令遵守、基準報酬 等
監事監査（事業・会計監査）	監 事	R7. 5. 30	結果：概ね適正
法人内部確認検査	管理職	R7. 5. 26	結果：概ね適正

（２）情報公開

項 目	公開先	内 容
財務諸表等電子開示システム	Ｗｅｂ	現況報告書、財務諸表 等
介護サービス情報公表	山形県（Ｗｅｂ）	事業所の介護サービス情報全般
山形県医療機関情報ネットワークシステム	山形県（Ｗｅｂ）	施設内診療所（医務室）と嘱託医情報
情報開示資料（閲覧）	法人事務所	事業計画、事業報告、決算書、監事意見書 等
法人ホームページ	Ｗｅｂ	定款、事業計画、事業報告、決算書、現況報告書、利用料金表、求人情報 等
法人広報誌（市内全戸回覧）	市民・関係機関	施設の状況、決算状況 等

（３）諸規定整備

規定名	変更内容
給与規程	・やすらぎ荘職員の拘束手当を新設
就業規則	・新型コロナウイルスに係る特別休暇を削除
臨時職員取扱規程	・最低賃金法の改定に伴い最低賃金を改定

(4) 人材育成・確保

研修名	開催日	会場	参加
福祉の仕事就職フェア	R7. 11. 6	グランドホクヨウ	施設長、佐藤事務員
南陽市就職面接会	R7. 11. 19	シェルター南陽	事務局長、佐藤事務員

(5) 表彰

機 関 名	人 数
全国老人福祉施設協議会（勤続 15 年）	1 名
全国老人福祉施設協議会（勤続 20 年）	0 名
山形県老人福祉施設協議会功労者賞（20 年）	0 名
山形県社会福祉法人経営者協議会	5 名
山形県老人福祉功労賞	0 名
山形県社会福祉施設協議会一般社会福祉関係功労者賞（15 年）	0 名

(6) 内部・外部研修（事務職関係）

研修名	開催日	会場	参加
社会福祉法人会計基準実践的基礎研修	R7. 7. 30	W e b	伊藤事務員
置賜地区事務職員情報交換会	R7. 10. 28	長井生涯学習プラザ	佐藤事務員
県振興会事務担当者研修会	R7. 11. 5	山形ビッグウイング	佐藤事務員
地域医療構想及び地域医療・介護連携推進等研修会	R7. 12. 23	W e b	加藤法人事務局長
経営状況を把握するための計算書類の見方	R8. 1. 27	W e b	佐藤事務員
改正女性活躍法・ハラスメント対策等説明会	R8. 2. 13	W e b	佐藤事務員
ケアプランデータ連携システム早期導入セミナー	R8. 2. 24	W e b	加藤法人事務局長

(7) 正規職員登用関係

験 名	開催日	会場	結果
令和 7 年度正規職金登用試験	—	—	応募者なし

～ 業 務 課 ～

- ① 令和 7 年度は業務員 1 名が交替となり、新たな体制で建物、設備等の保守及び補修整備を行った。2 名体制とはなっていたが、他施設との兼務のため、ほぼ 1 名で業務にあたったため、南陽やすらぎ荘業務員の応援により業務遂行にあたった。
- ② 今年度は経費削減よりも業務省力化に力を入れ、ゴミの搬出方法等を変更するなど対応にあたった。
- ③ 害獣対策として南棟敷地境界に電柵を設置するとともに、職員の駐車場も玄関付近に変更し対応した。また、令和 7 年度南陽市福祉施設等ツキノワグマ対策物品購入支援補助金により、特養南棟ゴミ置場に扉を設置、デイサービスセンターとグループホームの通路（南棟南側敷地内道路）にそれぞれ外灯を設置した。
- ④ 経費削減のため、空調設備の温度管理や紙おむつ、消耗物品等の在庫管理を徹底した。
- ⑤ 令和 7 年度山形県介護施設等における看取り環境整備推進事業費補助金により、旧厨房の改修工事を行った。
- ⑥ 自力浴室を一部倉庫と理容室に改修した。
- ⑦ 令和 6 年度より空調設備の省エネルギー事業として、マルチエアコンに ESCO 設備を設置し電気使用量の削減を行ってきたが、管理業者による温度管理が不正に行われたことや大規模な故障が相次いだため、契約解除した。
- ⑧ 今年度もホイールローダと投雪型除雪機を使用し除雪作業に当たった。今年度から 3 名体制で対応にあたった。出勤回数は令和 6 年度より少なかった。
- ⑨ 令和 4 年度山形県 I C T 導入支援事業費補助金により整備したバイタル監視型ベッドセンサーとタブレット（専用ソフトウェア）状況報告（3 年間）を行った。
- ⑩ 令和 7 年度山形県介護テクノロジー定着支援事業費補助金により、離床センサー内蔵の低床電動ベッドを 20 台購入設置し、介護職員の負担軽減につながった。生産性向上委員会で使用方法など協議しさらに業務省力化を図り、今後 3 年間、状況報告を行う。

（１）主な管理整備関係

	項 目	内 容	備 考
1	花壇整備	環境整備として植栽	いちょうの家
2	外周管理	D S C 法面の調査、管理	
		芝生の除草、施肥、芝刈り等	シルバー人材センター
		法面草刈り、水路管理 南棟道路脇水路の改良工事（南陽市で施工完了）	
		害獣対策として電気柵を設置 南棟ゴミ置場扉設置、デイサービスセンター L E D 外灯設置、グループホームゴミ置場開き門扉設置	南棟敷地南側 R 7 年度南陽市福祉施設等ツキノワグマ対策物品購入支援事業
		駐車場、避難道路の除雪、維持管理 小型ホイールローダ等除雪機械の管理（投雪型除雪機クローラ交換）	
		案内看板の維持管理	
		駐車場アスファルト舗装補修	
		こぶしの木伐採	
		洗濯物干場入口に防風カーテン設	

		置	
		グループホーム付近外周フェンス補修	保険対応
3	建物管理	月次内部定期点検による管理各部修繕	
		特養既存棟・デイサービスセンター外壁改修（令和6年度）	
		既存棟床・壁紙改修（令和5年度）	
		LED照明への更新（令和5年度）	
		東西棟トイレ・ゾーニング、家族面会室工事（令和5年度県補助事業）	
		デイサービスセンター床下温水配管漏水工事	
		南棟雨樋補修（雪害）	保険対応
4	温水発生器（ボイラー）及び給湯・温水配管類の保守管理	ばい煙測定、アスベスト調査の実施 床下配管の定期点検	平成17年度「車両競技公益資金記念財団」助成事業
		ボイラーNo. 2 循環ポンプの交換	
5	合併処理槽の保守管理	定期点検、定期清掃 法定・水質検査	既存棟・南棟
6	受水槽の保守管理	定期点検・清掃、法定・水質検査	既存棟・南棟
7	消防設備保守管理	スプリンクラー用非常発電機負荷運転試験実施	
		GH自家発電設備整備（令和5年度南陽市補助事業）	
		消火器の更新	
		受信機・蓄電池・非常放送設備のバッテリー交換	
8	地下油槽保守管理	年1回の漏洩検査を実施	消防法
9	ガス設備保守管理	定期点検	喜助
		バルクタンクガスメーター・調整器等の更新	
10	電気設備定期点検	毎月1回定期点検、年1回総合点検 デマンド管理	
		高圧機器PCB分析調査、コンデンサ更新	
11	空調・湿度管理	エアコンフィルター管理 加湿器の設置管理 空調設備の制御 南棟高所空調設備の洗浄清掃（令和6年度） マルチエアコンの大規模修理	弱酸性次亜塩素酸水の活用
12	業務用洗濯機、乾燥機、汚物除去機の保守管理	乾燥設備主任作業員講習 R3. 12 月 既存棟ガス式乾燥機1台更新 汚物除去機等の大規模修繕、消耗部品の交換	1998 年度「国県補助事業」
13	屋上保守管理	春と秋の清掃、管理 屋上防水改修工事（令和6年度）	
14	水道関係保守管理	水道部品等消耗品の交換	
15	自動ドア保守管理	年2回の保守点検	

16	レジオネラ菌検査	入浴前の浴槽湯を採取（異常なし）	
17	荘内清掃	清掃員による週 4 日の清掃作業 床洗浄・ワックス作業 業務員による窓ガラス、浴室等の清掃	
18	公用車の管理	日本財団助成リフトバス、日自振補助リフトバス、競馬財団助成スロープ付軽自動車及びリフトバス等公用車の積極的な活用及び管理 リフトバス操作講習（未実施） ハイエース S L、A B S 関連部品アクチュエータ交換 タンク中古車購入（令和 6 年度）	平成 18 年度日本財団福祉車両助成事業 平成 19 年度日本自転車振興会補助事業 平成 25 年度・令和 4 年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業
19	機械浴槽の保守管理	特殊浴槽（令和 4 年度更新）と中間浴槽（令和 6 年度更新）の管理 ストレッチャー担架マット更新	2024 年度自転車等機械振興補助事業
20	介護用品等の管理	車いす、電動ベッド等の補修 サイドレール・介助バー購入 スイング式車いす購入	
21	厨房機器の修繕等	ブレンダー修理 ブラストチラー排水トラップ交換 温冷配膳車修理、薬品洗浄 I H 炊飯器修理 フードスライサー他器具処分	
22	寝具類管理	特になし	
23	その他	玄関ロビー面会場所カーテン・照明器具設置 防犯用カメラ設置 南棟電気温水器無償修理 床下排水ポンプ（東棟）交換 グループホーム天井裏換気設備設置工事 サーバー、パソコン一部更新 面会場所のカーテン、照明設置 南棟受水槽給水配管補修 既存棟受水槽給水配管補修 A I 体温検知カメラ設置 紙おむつ・日用品の備蓄	保険対応 原油希少対応

（２）防災に関する協定一覧

	名 称	締結日	相手方
1	川樋地区 防災協定書	平成 18 年 12 月 30 日	川樋地区長（こぶし荘防災協力会会長）
2	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 災害時施設相互応援協定	平成 20 年 7 月 8 日	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 会員施設長
3	災害時における福祉避難所の指定及び使用に関する協定書	平成 28 年 2 月 15 日	南陽市長

9. こぶし荘ショートステイ

(1) サービス全般について

ショートステイ（短期入所生活介護）は、地域包括ケアの推進によりその重要性が高まるなか、生活相談員を窓口としてご利用者のご家族の多様なニーズ（生活の質の更なる向上や心身の健康維持・活性化、介護者の介護負担軽減、突発的な事情への対応等）をケアするため、各事業所の介護支援専門員をはじめとした専門職と細やかな連携や調整に心がけた。

また、担当の介護支援専門員が主催するサービス担当者会議に出席した際には、最新のニーズ把握のため情報共有、意見交換を積極的に行った。もう一方で、介護サービス計画書に基づき内部の職種間連携を大切にしながら、リスク検証を行い安全・安心なご利用を目指した。今後も「一人ひとりの暮らしの支え」のために更なるサービスの充実を図り、ご利用者のご家族の笑顔が在宅介護の継続に繋がるよう努めていく。

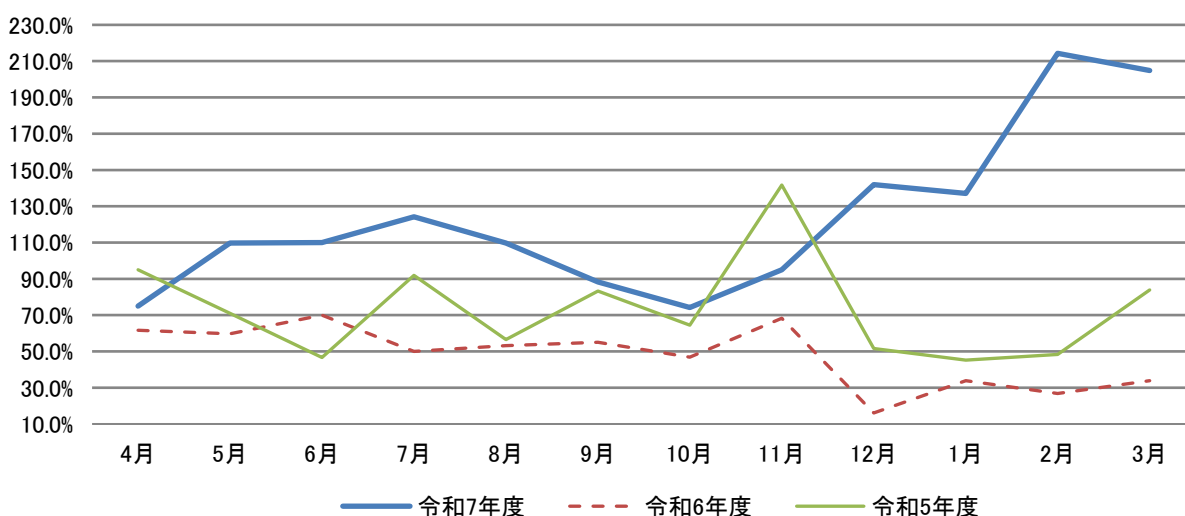
(2) 利用状況

① 月 別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用延べ人数	45	68	66	77	68	53	46
稼働率	75.0%	109.7%	110.0%	124.2%	109.7%	88.3%	74.2%
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用延べ人数	57	88	85	120	127	900人	
稼働率	95.0%	141.9%	137.1%	214.3%	204.8%	123.7%	

	延べ利用者数	月平均	平均稼働率	平均介護度
令和7年度	900人	75.0人	123.7%	2.06
令和6年度	550人	29.1人	47.9%	2.20
令和5年度	536人	44.6人	73.3%	2.76

稼働率推移(過去3年分)



今年度も新型コロナウイルスの他、地域の感染状況を見極めながら受け入れには十分に配慮した。特には、ご家族を含むご利用者の近況を確認しチェックシートを活用してリスク管理した。また、利用開始時のバイタルサイン測定とともに抗原検査を毎回実施させて頂いた。ご利用期間

中のケアは短期入所受け入れベッドのある南棟に限らず、体調や望まれる生活環境に配慮して各棟連携のもと全棟で受け入れ居室の設定を行った。

② 要介護度別

実人数

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
1	2	11	7	6	3	2	32 人

③ 男女別

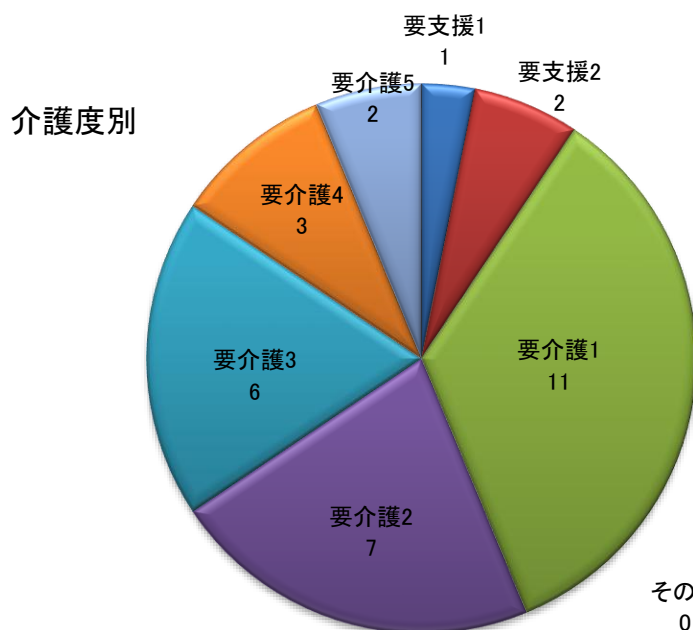
実人数

男性	女性	合計
14 人	18 人	32 人

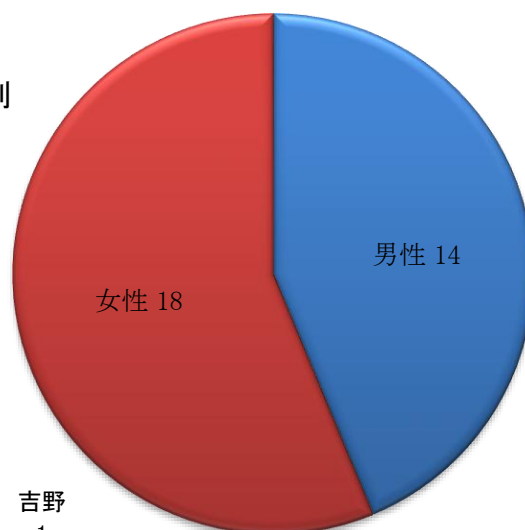
④ 地区別

実人数

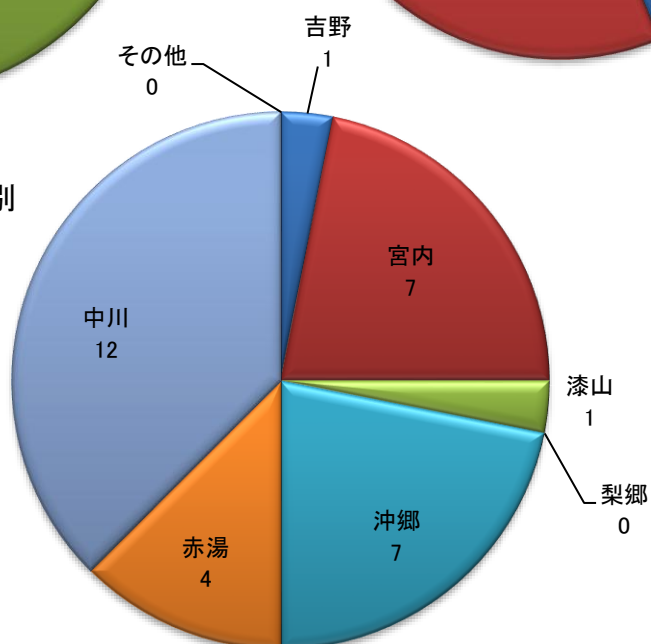
吉野	宮内	漆山	梨郷	沖郷	赤湯	中川	その他	合計
1	7	1	0	7	4	12	0	32



男女別



地区別



10. こぶし荘デイサービスセンター

(1) 総括

1. 利用状況

地域密着型通所介護及び総合事業の多様な利用形態に対応する為、営業日の調整及び日課の見直しを図るとともに、人員配置減による利用者サービスの低下をきたす事の無いよう、各部署の協力を受け健全経営に努めた。

2. 職員体制

職名	現員	備考	職名	現員	備考
管 理 者	1	兼務	ケアワーカー	1	
事 務 員	1	兼務	看 護 師	1	兼務
栄 養 士	1	兼務	機能訓練指導員	1	兼務
業 務 員	1	兼務	兼 務 計	8	
生活相談員	2 (1)	常勤 (兼務)	専 任 計	4	
介護福祉士	3 (1)	常勤 (兼務)	合 計	12	

3. 職員研修

職場内研修会への積極的参加を図り、職員の資質向上及び処遇技術の向上に努めた。また、防災安全に関しても重点をおき訓練等を実施した。

主な研修会等	参加	人数
◇ 令和7年度 県デイサービスセンター部会職員研修会	0	0
◇ 県老協デイサービスセンター部会生活相談員研究会 (総会)	0	0
◇ 事故発生防止委員会 (職場内研修会)	1	1
◇ 介護保険施設実地指導・介護保険施設集団指導	1	1
◇ 居宅会議	1	1
◇ 運営推進会議	2	6

(2) 利用実績

① 実人員 (性別、利用別)

介護度	要介護					総合事業					計
	1	2	3	4	5	通12	通21	通22	通31	通32	
男性	3	2	1	4	0	0	0	1	0	0	11
女性	18	11	6	3	3	0	2	5	0	0	48
計	21	13	7	7	3	0	2	6	0	0	59

② 地区別

地区	吉野	金山	宮内	中川	漆山	赤湯	梨郷	沖郷	施設	市外	その他
男性	0	0	0	9	1	1	0	0	0	0	0
女性	2	0	0	28	0	6	1	2	9	0	0
計	2	0	0	37	1	7	1	2	9	0	0

③ 入浴別

特別浴	介助浴	シャワー浴	入浴なし	その他
13	45	0	1	0

④ 利用状態別

利用中	休止中	入院中	入所	死亡	サービス移行	新規
39	2	4	8	6	0	22

令和7年度の地区別利用者割合（実人員）は地元が63%ほど、次いで施設が15%、吉野地区が3%、赤湯12%となっている。

やすらぎ荘の指定管理者となり施設からの利用者が増加となっている。

令和7年度の介護度別利用者割合は要介護1及び要介護2で60%を占めている。

要介護3は全体の11パーセント。要介護4は13%であり、要介護5の割合も5%と少なくなっており、施設入所に伴う影響と考えられる。

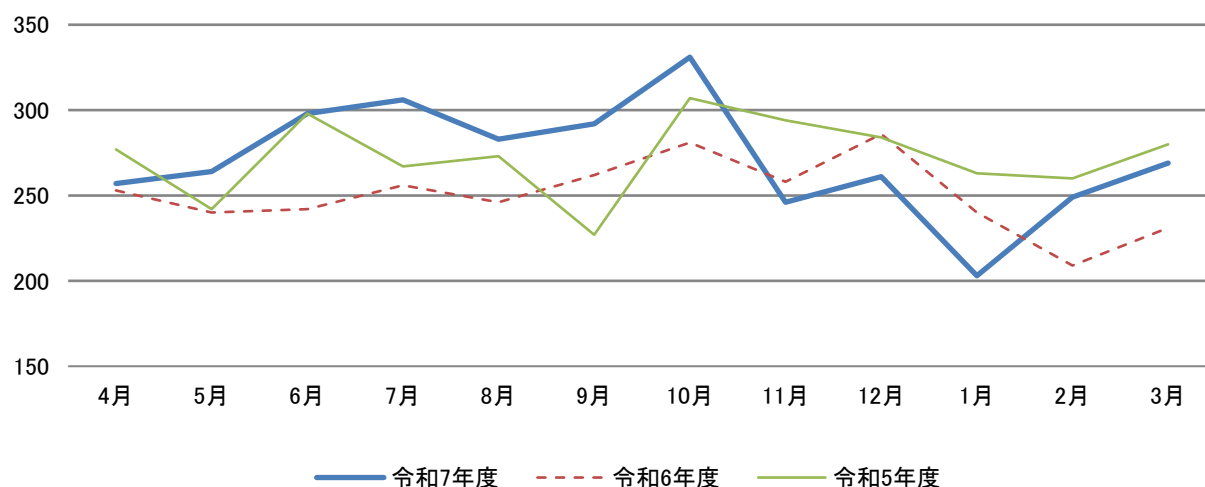
利用状態別割合は、年間を通して68.4%の方が継続してご利用されていたが、当年入所、ご逝去による利用終了は35.8%程度となっている。

※サービス移行（ショートステイ利用、小規模多機能）の方が増えている。

⑤ 月 別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営業日	21	20	21	22	18	20	22
要介護	217	226	259	269	257	247	283
総合	40	38	39	37	26	45	48
利用者計	257	264	298	306	283	292	331
利用率	68.0%	73.3%	78.8%	77.3	87.3%	81.1%	83.6
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
営業日	18	21	19	18	21	241日	
要介護	216	220	174	215	226	2,809人	
総合	30	41	29	34	43	450人	
利用者計	246	261	203	249	269	3,259人	
利用率	75.9%	69.0%	59.4%	76.9%	79.1%	75.1%	

月別・年度別利用状況（過去3年）



（３）利用者日課と行事

時 間	利用者の活動	業務内容	人員
08:00		出勤・送迎車点検・除雪（冬季） ミーティング、受け入れ準備	④ ④
08:10	送迎バス出発	乗車介助・宅内介助	⑤
09:30	送迎バス到着	受け入れ・移動介助・連絡帳確認及び記入・ミーティング	⑤
09:40	健康チェック	バイタルチェック	
10:00	茶話会 入浴 個別リハ、レクリエーション活動	5名体制 入浴介助（介助浴・特別浴）・浴室清掃 ホール対応	⑤ ④ ①
11:15	口腔体操	昼食準備・配膳	⑤
12:00	昼 食	食事介助（昼当番）3名（他休憩） 口腔ケア・排泄介助・移動介助	
13:00	休 養	連絡帳、日誌類記入（昼当番休憩）	
13:50	送迎出発（総合事業送り）1台	送迎介助	①
14:00	健康チェック	健康チェック・排泄介助・水分補給・レク準備	② ②
14:20	個別リハ、レクリエーション活動	レク・リハビリ活動指導	③
14:50	送迎バス到着（総合事業送り） 茶和会・懇談	翌日利用者の確認・連絡・次回予定説明 相談等・記録（データ入力）・送迎準備	④
15:20	帰宅準備	連絡帳配布・排泄介助	④
15:40	送迎バス出発（2～3台）	送迎介助	⑤
16:50	送迎バス到着	送迎バス到着・清掃 翌日利用者受け入れ準備 ミーティング、記録（データ入力）	⑤
17:00		退 勤	⑤

月 別 行 事 実 績			
4 月	・桜 花見 ・レクリエーション	10 月	・ハロウィンゲーム大会 ・避難訓練
5 月	・花壇花植え ・避難訓練	11 月	・カラオケ ・レクリエーション
6 月	・短冊書き ・運動会	12 月	・クリスマス会 ・茶話会
7 月	・七夕飾り付け ・短冊書き ・笹つづり制作	1 月	・書き初め ・団子下げ ・レクリエーション
8 月	・スイカ割り ・夏祭り	2 月	・節分豆まき ・ゆったりティータイム
9 月	・中川地区文化祭用作品制作 ・芋煮会	3 月	・雛祭りかざり ・レクリエーション

(4) 運営推進会議

開催日	出席者		主な内容
	委員	職員	
5 月 1 3 日	2 名	3 名	活動状況及び利用者の状況報告
1 1 月 1 8 日	2 名	3 名	活動状況及び利用者の状況報告

(5) 非常災害対策

こぶし荘防火管理並びに消防防災計画に基づいて防災関係機関との連携を図り非常災害対策及び訓練を行った。

- ◇ 防火管理者 近野生活相談員 (DSC)
- ◇ 消防防災設備定期点検 9 月 1 0 日、3 月 1 2 日
- ◇ 消防防災設備立入検査 置賜広域行政事務組合消防本部 なし
- ◇ 消防防災設備点検届出 置賜広域行政事務組合消防本部 9 月分
- ◇ 夜間非常通報訓練 1 1 月 1 0 日一斉メール、電話で実施
- ◇ 非常災害対策訓練 総合防災訓練 2 回
 - (第 1 回) 6 月 7 日 通報、避難誘導、初期消火訓練、防災協力会総会
 - 重点項目：消火器訓練、救急救命訓練、地震対応
 - (第 2 回) 1 1 月 2 5 日 図上訓練
- ◇ 協力依頼 ～ 南陽消防署、地区消防団、防災協力会、防災設備会社

(6) 施設管理、環境整備、その他

- ① 送迎車両 2 台分 ドライブレコーダー装着
- ② 洗濯乾燥機 購入入替え
- ③ 床下ピット内排水作業、センター外周側溝清掃
- ④ 給湯用ボイラー、暖房用ボイラーの保守管理及び修理
- ⑤ 浄化槽の保守管理 (排水ポンプの管理)
- ⑥ ロータリー整備、植木、花壇の管理
- ⑦ 除雪機の整備及び保守管理、駐機場整備
- ⑧ 特浴槽、利用者用シャワートイレ、トイレ手洗い自動水洗の保守
- ⑨ 入浴用バスタオル、フェイスタオルをリース継続
- ⑩ センター玄関サーマルカメラの保守管理 (感染症対策)
- ⑪ センター内に紫外線除菌器設置 (感染症対策)

1 1. こぶし荘在宅介護支援センター

(1) 総 括

今年度も介護保険法の自立支援の観点に基づき、在宅生活において、利用者の心身の状況、環境等に応じた適切な介護保険サービス等を総合的に提供、利用者と家族が在宅生活をできる限り継続できるように支援を行った。

利用実績状況について、4月時点で要介護45件、支援12件から、9月には介護支援合わせて65件とR7年度のピークとなる。それ以降、入院や死亡、介護から支援への更新認定、施設への入所、次年度から居宅ケアマネ1名体制へ移行のための、居宅内調整・他居宅事業所への引継ぎ等で、3月時点では介護35件、支援は4月より9件となる。昨年度同様、介護保険サービスに結び付かない相談（病院カンファレンス後に施設への入所・又は死亡、福祉用具購入のみ、利用見合わせなど）や、入所相談が昨年度の倍以上に上っていた。サービスに結びつかず、ケアプラン料が発生せずとも、定期的に関わりを持ち、状態把握や相談を受けるなどの対応が必要な利用者も複数あった。

来年度より、介護支援専門員1名体制となるが、効率的かつ質の高い業務運営を実現し、専門性の向上と働きやすい職場環境の両立を目指すとともに、一人ひとりの生活に寄り添った質の高いケアマネジメントの提供を通じて、安心して在宅生活を継続できる支援を行いたい。

(2) 利用実績

① 居宅介護支援事業

業務別件数	件数												
1.相談延べ人数	2123人												
2.訪問延べ件数	801件												
3.連絡調整	1550件												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4.手続き代行	2	1	1	1	5	0	2	1	4	1	1	1	20
5.新規相談	2	0	2	1	1	2	0	2	0	1	0	2	13
6.新規契約	1	2	2	0	1	1	1	2	0	1	0	1	12
7.担当者会議	7	6	10	11	15	7	5	12	6	10	2	8	99
8.カンファレンス	3	0	3	3	2	0	2	0	1	1	2	2	19

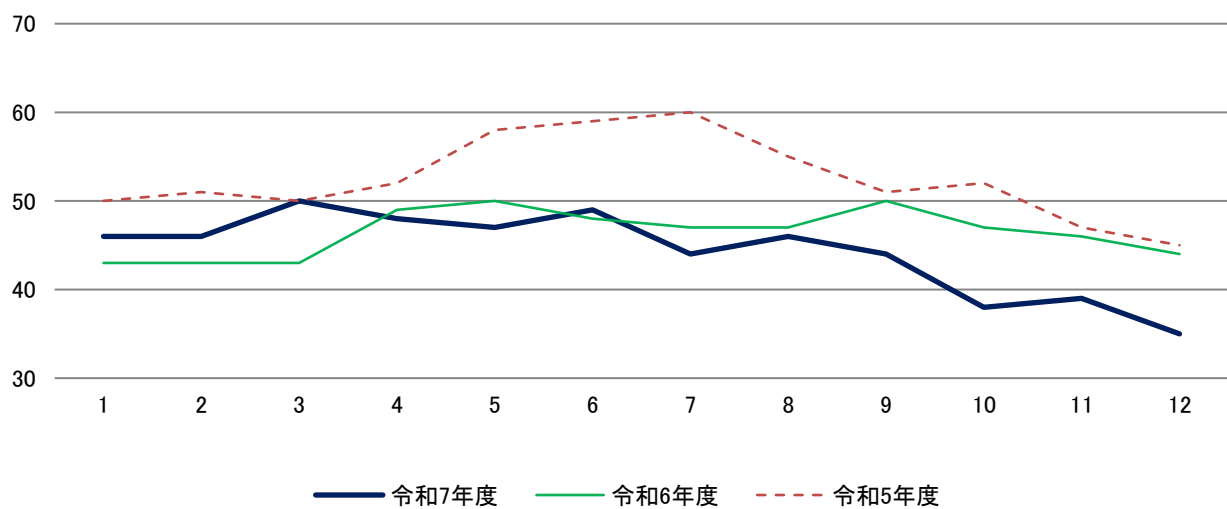
相談内容別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1.介護相談	24	43	24	24	21	16	16	8	14	23	19	29	261
2.健康相談	17	13	17	18	21	16	17	12	14	17	10	28	200
3.医療相談	4	9	17	9	13	14	12	10	14	11	12	18	143
4.入所相談	2	3	3	1	1	10	2	3	8	4	3	9	49
5.ホームヘルパー	8	13	16	15	16	14	13	15	20	16	14	18	178
6.デイサービス	50	60	56	60	56	61	52	49	44	49	41	51	629
7.リハビリデイ	5	7	13	8	15	11	13	10	9	5	6	8	110

8.ショートステイ	9	15	24	15	21	14	22	19	30	28	24	21	242
9.訪問入浴	2	2	6	4	4	3	3	2	3	1	1	3	34
10.訪問看護	6	10	11	10	11	7	17	8	9	8	3	16	116
11.福祉用具	37	45	49	45	48	49	47	49	47	42	34	45	537
12.住宅改修	0	2	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	9
13.認知症デイ	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
14.その他	27	23	35	40	42	36	16	18	37	29	24	46	373

給付管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付	46	46	50	48	47	49	44	46	44	38	39	35	532
予防給付	12	12	12	13	15	16	16	16	15	14	16	16	173

移動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1.入所	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	4
2.入院	0	0	1	0	1	1	3	1	3	1	1	1	13
3.死亡	1	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	2	7

月別・年度別稼働率状況（居宅介護支援費＋予防委託）過去3年分



12. こぶし荘認知症高齢者グループホーム こぶしの家

(1) 総 括

地域密着型・認知症対応型の施設として利用者の尊厳、主体性、可能性を強く意識しながら、法人の理念にケアの実践を重ねる取り組みができた。本人また、家族の身体的・精神的安定を最優先に、説明と同意の重要性、協力と信頼関係づくりを柱に「もう一つの家」「もう一つの家族」をイメージしたユニットケアを心がけた。

去年は、事業所内での感染症に関する発生は、1件2名の方の感染があり、夜間帯からの発熱であったが、感染対策をとり対応したことで法人内の協力体制もあり感染拡大することもなく10日間で収束させることが出来た。これは、常日頃の感染症に対する初動の大切さと職員の意識の高さの現れと考え、今後も地域や法人内での感染症に関することに注意を払い、職員一人ひとりが感染症に対する意識を継続していく必要があると考えている。

入所者の健康管理は、特養の医務室との連携を図りながら職員による一日3回の検温や血圧が高めで経過されている方の一日2回の血圧測定を行い健康チェックや定期・定期外の通院をはじめとする様々な医療機関との連携、口腔衛生の重要性に基づく歯科医・歯科衛生士との連携・協働とケアの実践を継続しており利用者の健康管理を行っている。また、体調を考慮しての3回の救急搬送、2回の救急対応やADLを考慮しての入所者2名の退所があり、身元引受人、医療機関、特別養護老人ホームこぶし荘との情報共有を図りながら入所者一人ひとりにあった生活の場の継続に結び付けることが出来た。

また、今年度もオレンジカフェは、新型コロナウイルス等の法人内の感染対策に照らし合わせ事業所内での開催は出来なかったが、市オレンジカフェ連絡会へ出席し他事業所との意見交換を行うことが出来た。また、南陽市キャラバンメイト連絡会は、勤務の都合上出席できなかったが、他部署の出席された職員と情報共有を図りキャラバンメイト主催の研修会に参加したり、職場内研修では認知症サポーター養成講座として職員に対して認知症の理解、共生社会の実現に向けた啓発活動を行うことが出来た。

また、地域の感染動向を見ながら入所者の外出、外泊の支援やドライブを実施し楽しみの機会と趣味活動、人となりを理解し得意分野を活かした取り組みと認知症介護研究・研修センターアセスメントシート（センター方式）の活用を継続して行っており入所者主体の生活に結びついている。

食事に関しては、一昨年の9月より外部の調理済み食材を管理栄養士監修のもと提供させて頂いていたが、9月、更に地元山形県の業者に変更し地元の味の食事を提供させて頂いており、物価高騰の中でも食費の中で食事量の質を落とすことなくご提供させて頂いている。週1回、麺の日やおにぎり、かわりごはん等もあり満足して頂いている。

ご家族様や入所者様へのサービス満足度に係るアンケート調査結果では定期的な連絡や健康上の定期外の受診を行っていること、制限はあるものの居室内での面会に満足頂いておりご家族様からも信頼されている内容の評価を頂いている。この評価に満足することなく更なる入所者様の生活の質の向上をこれからも追及していきたい。

防災については、非常発電装置も一昨年設置され停電時、一部電気を事業所内で使用可能となっている。しかし、更に防災についての意識や想像力を高め非常食の管理や非常発電装置が使用できない事態も含めいざという時に備えていきたい。

今後も事業所理念でもある「利用者主体」揺ぎなき尊厳のケアの実践を職員一丸となって考え、実践していきたい。

(2) 利用者の状況

① 月別・介護度別

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
要介護1	87	93	87	93	45	57	60

	要介護 2	120	124	117	124	128	120	124
	要介護 3	59	62	60	62	58	121	93
	要介護 4	9	0	0	0	0	0	0
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	0
入所者計		266	279	264	279	231	298	277
利用率		98%	100%	98%	100%	83%	110%	99%
入院・外泊		4	0	6	0	17	3	2
区分		11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
	要介護 1	60	62	62	56	62	8 2 4 人	
	要介護 2	120	136	124	112	114	1, 4 6 3 人	
	要介護 3	90	77	62	56	49	8 4 9 人	
	要介護 4	0	0	31	28	31	9 0 人	
	要介護 5	0	0	0	0	0	0 人	
入所者計		270	275	279	252	256	3, 2 2 6 人	
利用率		100%	98%	100%	100%	92%	9 8 . 2 %	
入院・外泊		0	0	0	0	23	(入所までの空きベッド5日)	

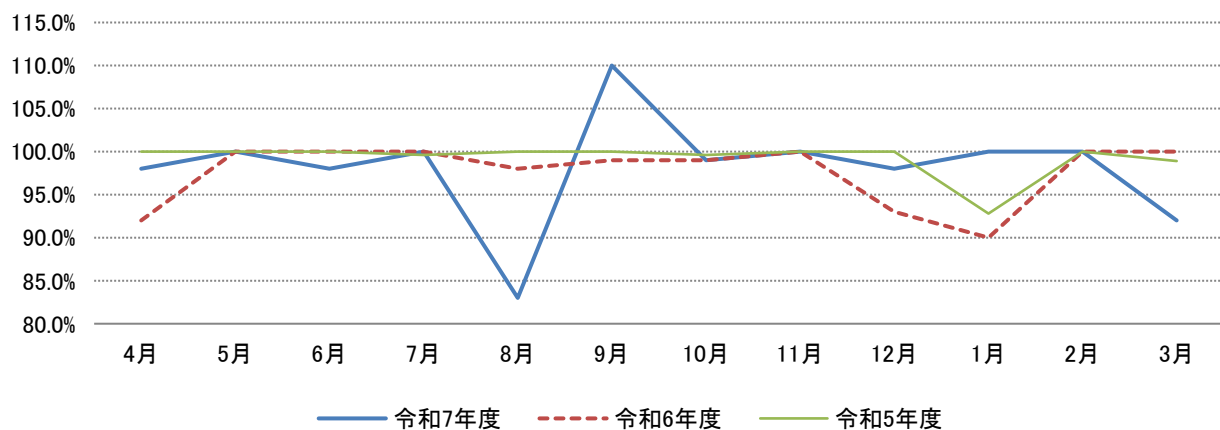
② 年齢別

区分	～60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	100 歳以上	平均
男 性	0	1	0	0	0	7 7 . 0
女 性	0	0	3	5	0	8 9 . 4
計	0	1	3	5	0	8 8 . 0

③ 入退所の状況

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	長期入院	その他	計	南陽市
男 性	0	0	0	0	0
女 性	0	0	2	2	2
計	0	0	2	2	2

月別・年度別稼働率状況(過去3年分)



平均介護度は2.22（昨年度2.11）で、重度化は、微増している。また、入院による空きベッドは39日（昨年度64日）、次期入所までの空きベッドは5日（昨年度10日）であった。

（３）入所者サービスと日課

入所者の生活は、様々なアセスメントの機会から把握した「人となり」に寄り添うことで繋がっていく。職員のこだわりは、「利用者のペース」と「どう暮らしたいか」の思いの察知にある。認知症ケアは尊厳のケアであることと、職員が意識化すべきことは利用者主体の理念であるとして1年間実践してきた。家族、地域、医療、行政等様々な機関との連携が、安心して地域で暮らせる力となっているという実感がある。地域行事への参加は、感染症や暑さへの対応から数回しか出来なかったが、バスハイクや趣味活動、得意分野を活かした取り組み、近場へのドライブなどで入所者の笑顔を頂いている。今後も利用者主体のもと入所者に合わせた時間、行事やレク、季節感のある食事や外出の機会など楽しみを見つけれられるサポート役を担っていききたい。

	一日の流れ（日課表）
6：00	起床、洗面、着衣交換
7：00	朝食準備、加湿器水補給（使用期間）、清掃
7：30	朝食、後片付け、健康管理チェック
9：00	清掃、洗濯（起床～朝食時の物）洗濯物たたみ
10：00	お茶、レクリエーション 等
10：30	入浴、昼食準備、リハビリ体操
11：00	昼食準備
12：00	昼食、後片付け、洗濯物畳み（起床～朝食時の物）、洗濯（午前中の物）
13：30	休憩、トイレ清掃
14：30	レクリエーション、お茶、健康管理チェック等、敷地内の散歩
16：00	夕食準備、洗濯物畳み（午前中～昼食時の物）、リハビリ体操
17：00	夕食、後片付け、ゴミ収集、洗濯（午後～夕食時の物）
19：00	だんらん、トイレ清掃
19：30	就寝準備
20：00	就 寝

（４）主な地域交流・家族交流

月 日	地域交流・家族交流
10月23日	こぶし荘秋祭り
11月 3日	中川地区文化祭（作品出店）中川公民館、10月30日見学

*新型コロナウイルス感染防止と外気温が高かったため、地区の夏祭りに参加出来なかったが、地域での感染状況と法人の感染症対策と照らし合わせながら佐藤病院の夏祭り見学や菊祭りへのバスハイクを実施した。ご家族との外泊、外出もその都度、調整しながらご家族のご希望に沿った対応をさせて頂いた。今後も入所者、ご家族の安心できる外泊、外出をサポートしていききたい。

（５）運営推進会議

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準に基づいて2ヶ月に1回、計6回開催した。本人と家族の思いを大切にし、当事者感覚でのケアの追求と運営を意識しながら実践することにより、更に質の高い介護を目指すことを目的とした。

開催日	出席者		主な内容
	外部委員	職員	
5月13日	3	2	入所者状況、7年度委員・細則、事業計画 他
7月16日	3	2	入所者状況、第1回総合防災訓練について 他
9月18日	3	1	入所者状況、敬老会について、感染症について、調理済み食材の業者変更について 他
11月18日	3	4	入所者状況、外部評価について、入所者様の外泊、外出について 他
1月21日	3	2	入所者状況、第二回総合防災訓練について、ご利用者へのサービス満足度に係るアンケート調査結果について 他
3月17日	3	3	入所者状況、感染症対策、内部研修について 他

※入所者の体調不良時の対応や建物や設備、電化製品や機器の交換・修繕について、また職員の研修受講に関してや外部の会議・研修会等への出席について、更には感染症対応について毎回の議題の中に取り入れた。

(6) 防災訓練

日常の防火防災に努めるとともに、災害時には特別養護老人ホームこぶし荘職員と一致協力して災害に対応するよう訓練を行った。

- ・ 6月 7日 第1回総合防災訓練
- ・ 11月10日 非常通報訓練
- ・ 11月25日 第2回総合防災訓練（BCPの研修）

(7) 建物・設備

- ・ 加湿器掃除、片付け 4月12日、17日
- ・ 電気点検 4月14日
- ・ 非常口の誘導灯点検、交換 4月23日
- ・ ホールのカーテン洗濯 5月 7日
- ・ 天井裏の換気工事 5月15日、16日、23日、6月25日
- ・ 樹木の消毒作業 6月 8日
- ・ 車椅子のタイヤ交換 6月 2日
- ・ 給湯器修理 8月25日
- ・ 事業所内ワックスかけ 9月 2日
- ・ センサーマット購入 9月 2日
- ・ 消防設備点検 9月10日
- ・ ガス点検 10月10日
- ・ プランター片付け 10月31日
- ・ 加湿器稼働 11月 3日
- ・ レースのカーテン設置 12月 4日
- ・ 車椅子購入（2台） 2月 6日
- ・ ランタン購入（居室用） 2月 9日
- ・ 融雪剤、バケツ、シャベル購入 2月10日
- ・ 洗濯乾燥機フィルター交換 2月24日
- ・ 消防設備点検 3月12日

※エアコンフィルター清掃、換気扇清掃は随時

13. 養護老人ホーム南陽やすらぎ荘

(1) 総 括

令和7年度は指定管理受託2期目（R7～R11）の開始年度となり、1期目の運営実績を活かしながら入所者にとって最良の選択となる支援の提供に努めた。年度途中で施設長異動人事があり入所者に不安を与えたが、職員が一丸となり乗り切ることができた。

管理業務については、今年度から設置者（置賜広域行政事務組合）が水道光熱費を負担することになったため、値上がり等の影響を受けることはなかった。一方で給食業務委託に係る経費が物価高騰の影響を受け、前年度より増加した。しかしながら、業務委託費やその他の経費削減に努めたため、利益実績は前年度を上回る結果となった。

また、入所者に関する各種行事等については、県内の新型コロナウイルス感染者の動向を見ながら、コロナ禍前の状況に少しでも近づけるよう創意工夫し、入所者の皆様が日々を楽しく過ごしていただけるよう処遇に努めた。入所者の平均利用率は86.6%で県内養護施設の平均利用率を若干下回る結果となった。

事業の概要及び入所者状況は以下のとおり。

(2) 各種行事及び管理業務の状況

月	行事等の実施状況	修繕状況	保守点検状況
4	・職員全体会議 ・花見（観音様前） ・クラブ活動 ・親睦会総会 ・荘内花見 ・健康体操	・バリエリア洗面台柱亀裂修繕 ・ダリヤエリア東非常口スロープ手摺修繕	・浄化槽清掃 ・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬
5	・県輪投げ大会選考会 ・防火扉訓練 ・総合避難訓練 ・屋内消火栓操作訓練 ・第1回防災委員会 ・健康体操 ・芸術鑑賞会		・建物結露・水漏れ点検 ・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬 ・浄化槽清掃 ・電気設備定期点検
6	・クラブ活動 ・観音様祭礼 ・健康体操 ・県輪投げ大会	・スチームコンベクションオープン扉パッキン交換修理	・浄化槽清掃 ・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬
7	・グラウンドゴルフ大会 ・芸術鑑賞会 ・健康体操 ・東部子供みこし・はやし（太鼓） ・令和7年度地区懇談会 ・模擬喫茶	・調理室二槽シンク排水パイプ修繕（左側） ・建物エアコン配管工事	・浄化槽保守点検 ・浄化槽清掃 ・厨房内清掃・害虫駆除作業 ・産廃物収集運搬 ・建物水漏れ点検 ・電気設備定期点検

月	行事等の実施状況	修繕状況	保守点検状況
8	・納涼会 ・お盆飾付け ・お盆供養 ・第2回防災委員会 ・夜間避難訓練 ・健康体操 ・第3回防災委員会 ・クラブ活動	・調理室二槽シンク排水パイプ修繕(右側)	・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬 ・建物水漏れ点検 ・厨房微生物検査 ・浄化槽清掃 ・南陽やすらぎ荘床・ガラス清掃 ・消防用設備保守点検(機器点検)防火設備点検
9	・故 高橋 良明施設長お別れの会 ・敬老会 ・クラブ活動 ・健康体操 ・彼岸供養	・建物屋根修繕作業(西個浴天井水漏れ関係)	・浄化槽保守点検 ・浄化槽法定点検 ・自動ドア定期点検 ・産廃物収集運搬 ・電気設備定期点検 ・浄化槽清掃
10	・クラブ活動 ・健康体操 ・運動会 ・芋煮会 ・模擬喫茶 ・菊祭り見学		・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬 ・バルク供給設備点検 ・浄化槽清掃
11	・施設長と語る会 ・健康体操 ・レクリエーション大会 ・芸術鑑賞会		・浄化槽保守点検 ・貯水槽清掃 ・貯水槽水質検査 ・公用車12か月点検 ・タイヤ交換 ・簡易専用水道水質検査 ・産廃物収集運搬 ・電気設備定期点検 ・敷地内雪囲い作業 ・非常用発電機機器点検 ・浄化槽清掃 ・除雪機定期点検
12	・模擬喫茶 ・健康体操 ・クラブ活動 ・忘年会	・電話回線復旧作業 ・ダリヤ8号室トイレ詰り解消作業	・浄化槽保守点検 ・産廃物収集運搬 ・バルクタンク点検 ・安全弁交換作業 ・浴槽清掃
1	・小正月、団子木飾り ・新年会 ・健康体操 ・レクリエーション大会 ・果物の日		・浄化槽保守点検 ・電気設備定期点検 ・産廃物収集運搬 ・浴槽レジオネラ菌検査 ・浄化槽清掃
2	・ホットケーキ作り ・衆議院議員総選挙不在者投票 ・健康体操		・浄化槽保守点検 ・消防用設備保守点検(総合点検) ・産廃物収集運搬 ・厨房微生物検査 ・厨房床清掃
3	・健康体操 ・彼岸供養 ・輪投げ大会 ・模擬喫茶 ・芸術鑑賞会	・建物屋根修繕作業(建物中央北側破風板)	・浄化槽保守点検 ・自動ドア定期点検 ・非常用発電機総合点検 ・産廃物収集運搬 ・電気設備定期点検 ・浄化槽清掃 ・公用車ドラレコ入替 ・公用車フィットタイヤ交換作業

(3) 入所、退所の状況

月	月初日の 入所者数	入所件数	退所件数	備 考
4	62	0	2	内1名は死去
5	60	1	1	
6	60	1	2	
7	59	1	0	
8	60	2	2	内1名は死去 内1名は措置解除
9	60	1	1	死去
10	60	2	0	
11	62	0	2	内1名は死去
12	60	2	1	死去
1	61	2	2	内1名は短期入所 内2名は死去
2	61	1	0	
3	62	0	2	内1名は在宅復帰
合計		13	15	

(4) 文書の情報公開についての実施状況

なし

(5) 職員研修等状況

① 職場内研修

研 修 日	研 修 名	参 加 者	備 考
8月25日	リーダー向けスキルアップ研修会	支援員	
9月11日 9月12日	ストレスマインドセット研修会『ストレスを知ってうまく付き合う』	主任支援員、生活相談員 介護員	
10月14日 10月15日 10月21日	BCP研修『BCPの基礎知識と非常時の対応方法について』	職員22名	
10月16日 10月21日 10月22日	令和7年度 虐待防止研修 (高齢者介護関係職員研修2「虐待防止・身体拘束について」を受けての 職場内研修)	職員18名	
12月9日	転倒・転落・服薬事故等防止について	支援員、介護員	
12月11日 12月18日 12月19日 12月23日	感染予防研修会『嘔吐物処理方法について』	職員21名	
3月16日 3月17日 3月18日 3月19日	令和7年度 虐待防止研修 (YouTube【介護職員必見！】不適切ケア～自然にこんなことしていません か？～の視聴)	職員21名	

② 外部研修

研 修 日	研 修 名	参 加 者	備 考
5月14日	令和7年度置賜地区実践研修発表会	業務課長、業務係長、支援員	
8月4日	2025年度山形県受託研修－施設看護職員BPSD研修－	業務課長	
8月28日	令和7年度高齢者介護関係職員研修2 『虐待防止・身体拘束について』	支援員	Zoom研修
9月1日	令和7年度コミュニケーション力向上研修1 『成長とさまざまな関係形成に活かす』	介護員	
9月11日 9月12日	令和7年度山形県 防火・防災管理講習	事務員	
9月30日	令和7年度介護施設における安全対策担当者養成研修	業務係長	オンデマンド
9月30日	令和7年度応急手当講習会	生活相談員、介護員	
10月23日	令和7年度養護部会 事務員・看護師・業務員合同研究会	事務員、業務課長	
10月24日	宮城県老施協共同Web研修 ファシリテーションスキル/リーダーシップ研修	支援員	Zoom研修
11月10日	令和7年度社会福祉施設ケアリーダー研修『カスタマーハラスメント対策』	主任支援員	
11月13日	令和7年度南陽市社会福祉連絡協議会 職員合同研修会 『社会福祉施設における防災・減災対策について』	施設長、事務員	
11月18日	令和7年度アンガーマネジメント研修(基礎編) 『怒りの感情と上手に付き合うために』	支援員	Zoom研修
2月10日	山形県 中小企業向け助成金活用セミナー	事務員	

(6) 来年度の主な事業等

令和8年度はこれまで積み上げてきた運営実績と経験を活かし、入所者の安全と安心を確保しつつ、一人ひとりに寄り添った支援の充実を図ってまいります。

特に社会情勢の変化を踏まえて、感染症予防対策をとりつつ面会時間の拡大や外出・外泊の緩和を進めるとともに、外出支援事業を積極的に実施し、生活の質の向上に取り組みます。

また、物価高騰が続く厳しい状況においても経費の見直しや業務の効率化を図り、設置者及び行政と連携しながら安定した施設運営に努めてまいります。

☆☆ 令和 7 年度事業報告書 ☆☆

法人名： 社会福祉法人南陽恵和会
理事長 遠藤 東一郎

所在地： 山形県南陽市川樋 5 0 8 番地
電 話： 0 2 3 8 (4 9) 2 8 0 0
F A X： 0 2 3 8 (4 9) 2 8 0 2
メー ル： kobushi@bz01.plala.or.jp
U R L： <http://kobushiso.jp/>